

作成日 : 2007年04月01日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : パイロキープ® TS900E(硬化剤)  
会社名 : 株式会社シリカ・ジャパン  
住所 : 石川県金沢市森戸1丁目104番地  
電話 : 076-249-7801  
FAX : 076-229-7261  
整理番号(MSDS No.) : SB1069-1

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名(又は一般名) : 耐熱・防食コーティング材用硬化剤  
  
成分名 : 水溶性脂肪族ポリアミンアダクト  
含有量(%) : 約14  
CAS No. : 非公開  
化審法番号 : 非公開  
  
成分名 : 水  
含有量(%) : 約85

### 3. 危険有害性の要約

#### 最重要危険有害性

有害性 :  
腐食性があり、眼や皮膚を刺激する。

分類の名称(分類基準は日本方式):  
日本分類基準に該当せず

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合 :

空気の新鮮な場所に移動し、うがいをする。直ちに医師の診断を受ける。

#### 皮膚に付着した場合 :

皮膚を刺激する。  
汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。速やかに製品に触れた部分を水及び石鹼を用いて十分に洗浄する。刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。本品が付着した衣類等は、再使用前に洗濯する。

#### 目に入った場合 :

眼を刺激する。  
速やかに流水にて15分以上の洗浄を行う。眼をこすってはならない。洗眼は瞼を指で開いて行う。直ちに眼科医の診断を受ける。

#### 飲み込んだ場合 :

水で十分に口腔内を洗浄する。飲み込んだ場合には、コップ1から2杯の水を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤 :

火災の状況に応じた消火剤を用いて消火する。

#### 火災時の特定危険有害性 :

沸点以上に加熱された容器は破裂するおそれがある。

**特定の消火方法：**

周辺火災の場合であって、何ら危険を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

**消火を行う者の保護：**

火災の状況に応じた保護具を着用する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項：**

適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用して、風上で作業する。眼や皮膚との接触は避ける。  
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に室内の換気を行う。

**環境に対する注意事項：**

河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

**除去方法：**

多量に漏洩した場合には、盛土で囲って流出拡大を防止すると共に、何ら危険を伴わない場合には速やかに漏洩源を止める。土や砂に吸収させ、密閉可能な容器に回収する。  
漏洩残渣や極少量の場合であれば、拭き取る。

**7. 取扱いおよび保管上の注意****取扱い：**

本品の用途(パイロキープの硬化)以外に使用しない。  
本品の取扱い時には、暴露防止のために、必ず適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用し、作業時には換気や局所排気を行う。

**保管：**

直射日光を避け、屋内にて5～40℃で保管する。

**8. 暴露防止及び保護措置****設備対策：**

屋内で作業する場合には、局所排気装置の設置または全体換気を適切に行うことが必要。

**管理濃度：**

管理濃度(作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号))及び許容濃度は設定されていない。

**保護具：****呼吸器用の保護具：**

マスク

**手の保護具：**

ゴムや塩化ビニル等の耐薬品性の手袋

**目の保護具：**

側面付き保護眼鏡またはゴーグル

**皮膚及び身体の保護具：**

長袖の作業衣

**適切な衛生対策：**

作業後には手や顔を十分に洗浄する。的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。  
作業着は再使用の前に洗濯する。

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状态：**

形状：液体

色：淡黄色

臭い：微弱なアミン臭

pH：データなし

**物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲：**

沸点：データなし

融点/凝固点：データなし

分解温度：データなし  
引火点：>100°C  
発火点：>450°C  
蒸気圧：データなし  
蒸気密度：データなし  
比重/密度：データなし  
溶解性：  
水に対する溶解性：水と混和する  
オクタノール／水分配係数(log Pow)：データなし  
その他のデータ：  
爆発特性：データなし

#### 10. 安定性及び反応性

安定性：  
未開封の場合は安定  
反応性：  
酸と反応してアクリロニトリルが生じる  
避けるべき条件：  
低温、高温  
避けるべき材料：  
酸  
危険有害な分解生成物：  
知見なし

#### 11. 有害性情報

急性毒性：  
知見なし  
局所効果：  
腐食性があり、眼や皮膚を刺激する。

#### 12. 環境影響情報

知見なし。

#### 13. 廃棄上の注意

主剤と硬化剤を混合して固化させてから知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

#### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：  
番号：未評価  
クラス：未評価  
輸送の特定の安全対策及び条件：  
容器を積載する場合には、落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器の収納口は上方に向けて積載する。

#### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法  
非該当  
労働安全衛生法  
名称等を通知すべき有害物：非該当  
化学物質管理促進法(PRTR)  
非該当

消防法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

非該当

化審法

既存化学物質

高圧ガス取締法

非該当

16. その他の情報

参考文献

無し

この資料は「JIS Z 7250:2000」及び(社)日本化学工業協会の「製品安全データシートの作成指針(改訂版)」に基づき作成しています。

改訂された項目には“\*”を表示しています。

責任の限定について

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該化学製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。

また、記載内容は当該化学製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

従いまして、当該化学製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。